大宮内屋、中野拓松寺記官等を | 鮮北司合部に御澄、小原軍司令官

列立無路を仰付けられて御後、姿 玄関正面でおそれ多くも小職軍司 高節官 以上心 職員に對し別塞で

司令部では海風中特に川狗飛鍋を一各部隊長

御聽取 の神後、在部共、

しても個々種闘

御俗會朝鮮ホテルに向けせ、同四十五分師閣司令部御發、

總督所に御成り

以下率迎申上行、軍司全官御先導 時十二分經官御發、同十四分期 御展望 離けれれ 同十

**兮官、北野参鹏長、二宮朝鮮憲兵** 

| 軍司令官初め各郎是、西嶽差郎、高 | 給ひ記念の御提続を遊ぼされ、 全 | 朝鮮軍司令部、 第

十年限司会部は

午後一時三十五分、總督府に御到

房部、眼長を願へ、正面女闘四側 常醴服に威廉を正した南總督は大 消、これより先き、附軍大将の通

野政都總監を初め本府各局長、官

に繋列奉派申上げる

に御食物を貼ひつく、非坂文香県

碓井人事職長の御先導で總督

人らせられ、御少態後、南總

**仰入城御第一夜を朝仰ホテルに御| 佐伯京城府尹の御説明で熾々たる| 級副官等に単獨拝路を賜はり、** 

軍司合部

師團司令部に餌成

の者良く懇切に分り治療看護に力めよ

今次の事機に際し戦に傷き叉は病患に冒さ 赤誠其の勤めに勵みあるは粛足に思ふ、向又銃後に在りて後援に從ふ者は官民擧つて たる將士に對しては寔に氣の毒に思ふ、

の要宜の優別なる場合陸下の神音菜を御郷遠辺はされた絶助子内観玉販下朝非車司合部に傳成の除小殿市司令官

ける朝鮮軍司令部喪表 後益々一致協力率公の至誠を控ぐるやう 以上軍司令官より各關係方面に傳へよ

何難き御言葉を賜る

に對し殿下より 重ねて左の裏官の有難き御言葉を賜しつ 二次に第司令官より事題関係患者並に続後の釈説に開し言上したる 技為力強勵以て、聖旨に副ひ奉しむことを期します。近たる神言薬を拜し張悟悠傲の至りに堪へませぬ」に述いの言葉に対し立司令官は恐悟し左の通知本祭申

重大の砌軍司令官以下途々自重自受衝駒努の上委曲上奏するであらう。現下時局経々の上委曲上奏するであらう。現下時局経々に観さては鯖京

右の要比の御音葉に對し軍司令官は左の孤り音上した

征しあらざる第十九師廟共他の部隊は來るべき重大時局に討しは夢ら○○部隊の後据としての傷力及動跡に傷廟し、又未た出頂れて一殿下より朝討葉を賜はり張暾に堪へませれ、深津部隊 致協力愈々奉公の至誠を掛げ御る

京装卵屑装の際売は腎圧の上御迎送申上ぐる聴覚でありまゆ鰻の松田駆教しますことを御昨し御殿ひ申上げます俏魚に越太海はて準備中でありまするので軍司令官の明十八日に別の後はて準備中でありまするので軍司令官の明十八日

軍司令官談は既に競技したが右重ねくへの優別なる御言葉に對し 色々忙しからう遠慮なく行動せよ ランス大使ナジヤール氏は十六日 國民政府要人と謎の脅談をしたフ 【香稿十六日同盟】 漢口において 香港に飛ぶ 中はないと述べ個へられる對東社じて今回の僕自行は何差政治的。

付難き御思召を拜

辞、親し、傷病帯兵を仰駄刑且つ | 膨下の御言葉の御帳選があつたの 鉄禄の駅況を二十億日間に亘り御一であります。 再帰の復胜者、田仏 視察めらせらるゝことゝ相成り、 台市電洋を受けるそうれ道路和来「老海が保せらる」優別なる。 島市「韓の開稿と寛成一致の軍事援助事いれましていこのたび」真信所下「事を決せられ且つ今後一勝の奏会」於ける内部「韓観談に基く愛國籍しれまり 特兵及其の選系族等の身の上につ

り相成り只今本脳に対し今回の事|脳を新に致しました次第でありま に際し傷別を受け病型に閉ぎれ」す。此の有難き御見名を親してし の御仁慈に對し奉り、今更孫く賦一御巡り達はされるのでありますが

景熱に向い開闢しき折構、御芝無 殿下に

業の概要につき担しく 殿下に言

は京城にての御日

原量,

(57)

J

刑

太五

郎郎 柳 作



前の廣大無過を記さい 學展さな日を極めて異個

きよつと身を輝くした。つてその力に向けられた

手に潜ひ、災つたその

素

円億二金本資



類を見ば入つてもいくかたこと 関しいのか。十六日の参議者に

々感激に堪

に慰迦し徳思報國の赤迦を豫々蒙したく神使命を神造成の爲審さに神ありません縁下将兵も乱烈の厚き一神並びの閉もたく本日より鮮内殿 仁徳を無します時唯々感況の外は一其後御慈もなく京城に御野帝被盗 <致しま手 ことは申うまでもあり | 観察被遊れるとは光楽の至りであ **宿舎共但馬敷い施設不十分たる土** りまするが気候風土を異にし圧御 |野したいと思って|| と隅の方に

に耳り親しく御宮はせ給ふこと 産金委員一行東上

からは穏積殖底局長及び木野産会 に來る廿一日京城遼東上の豫定 れること、なったが、總督府

島實營中時 (工兵監) 十七日

◆山村正輔氏(江原資費券幣長)

**黄河決議の暴忠世界法祠の的** 

ぐん(漢目に迫る皇軍の壯

遺は自ら 明らか ではな いか。日

朝鮮關係の

るので、最後の決定に至くまでは

時既經國策を一段と總括的に强化 することが中心聯題となって論語

末次內相

【東京電話】宋次内相は十六日午

陰、海、外、大陸等関係間係の更 | 会議に於てこの方紙を検討し急速| | 会議に於てこの方紙を検討し急速| 行政、經濟、文化三者を統合 - 總裁 支中央機關設置問題については、 迭により全く新たな基礎の上に立 に實現の方針であるが、本問題は つ事になったので、最近に至り政 機械改配的悪については、「党派」計削にして辞去した。──に飛び遠院を捌して権強攻戦を開時中絶の形となつてゐた質」的館につき様々意見の支換を行ひ「創し○基地を出盤安整西北方上空 尊感: 時間にして辭去した 南京十六日阿盟] 吉田部隊樋口 樋口機墜落 樋口大尉及び

【東京電話】過報の内閣改造によ | 別邸に動ひ新設院に入つた富面緒 | 孝大尉、赤野森関東暫は十六日早

天地支黄

これを皇軍の所第と通軍傳せ

駅の思むところとたらむ

庭の野人は皆これを知つてゐた。 「一切空」といる音楽があるでけ

辿々、政務總監侍立のもとに

朝鮮し 旅その他の釈説

し五相合譜において決定を見た對

端に十七日定例脱議数守後午後一

質は大野政務稳定を伴ひ、御前に

衛として對支事物同を除き、現地

【東京電話】戦局の新段階に對皮

五相會議開かる

せられる、而して討変中央機関機

起路下には總督を召され、東久通 闘を贈ひ、再び總督室に御少離後

> て對支最高方針はあくまでも 支外交については外務省所容とし

を中心として非路が進められ、

としての御査権を以て御

発展者に置し夫々闘を隠ひ、更し就いて言上申上げる、疑いて草

一合聯軍に於て列立邦闘者に

し。快楽こそこの世に於ける唯一ではないか。 人は 須く 難しむべ とても、利益のため、快楽のため、五常である。とするならば、これ この場に頭つて來た。 音樂の響きが後風のや にしたのが五倫であり、 うもその方が五に利益で 知事吉 は、自然、その間に利益 **含あが、多数が寒まつ** 国家をつくつてある

\$500

州を視察

此の知になつて一百き権益に執

一、何を思しみ、何を強へ問でとっ一切空の世とわか。理をとっ一切空の世とわか。 け入 と人との約 東であして第一義のものではな とても便宜上の地職であ るべきではないかっ そちじことが いらうっ 歌樂し 雑名 すでに直入れば ことだが、総のほか 説教切主が日くか





ήŀ ŵ

部品料食

P ÷ **发,玩言思。 旨存**的 宣 贺 子 一 门 鉅 , • 株 宣 版 料 肥 苗•山 田•油 平•山 运•城 亩

労争事も夕べには自体

社會式铁料肥素室本日

せてあるのだった。 た核性が限に手を流が |頻光を放っかと思いり

暦間並に銃後狀況を御心祭あらせ一 並に満洲非型に依る戦傷病者を御 秋後王妃妻子内親王戎下至朝畔に ┃ 間返ほされまする宏大無盗なる師 ┃ の常客局に師一泊なされましたが 御差遺あらせられ親しく麦那事塑

四事題に依る戦傷病者の上に即心 加へつくあります折視音導職を朝 | 地を御女僕の御身にて世餘日の長

伏して 惟手るに我が北一ままぬ

る朝鮮神宮に御参拜の御後

は又遠く布を載えて朝鮮の邊境と一 |鎌の外今回の支那串襲並に議||新にし「蘇駿心化粉に鴻蓮し以て| 殿下に

大御心を安んじ鴻思の萬分の一に (歌い奉らんことを期する次章であ) 鮮の防衛に奉じる子者蓋に感謝を

おかせられては去しす

しを実心が顕し奉を次第でありま

を理史十八日午前十時半京城府の賀川県彦氏(東京市場託)鎌定

しやつたのですか。その恋ろしい 『先生、先生は、それを仰つしや 響れて、悲悩な姿をしほつた。

【吉州】見島咸北知事は相場産業

具は既に日に消えてゐたが、斯

の説明を確取し、午

# 十八日から各地へ

列車願 海里件 置任者收谷

ら巻局、一般で機事は無聊の求一裁判長から「飛嫌品のみ物が傷に

人金を持つて

## り、検事協訴で二個公判が開かれ

所有のもの



學生勤勞奉仕團の作業内容

學務課長會議で決定

於ては智能學校又はその寄宿特に女子中等學校では本年度

上の大立廻り

女を張り合つた一味七名捕る

盤よ昇格の認可も下附されて

『京都の困親の

養父母の誤

一二十年間下にも置かず可受が あみやけほ

戦後の富全工特

が屋の化らのきずつ

和寺くさの名類です が研究生は、他に問ふ 下一品胸のすく江戸前 下一品胸のすく江戸前

虎造

新興キネマによって問題の名浪曲

映画化なると

**北盟弘幽** 

をして得窓の吹を開かせ さして得窓の吹を開かせ さと云ふ虎遣ファンの見 遠せない復朋映畵ノ

た。 た。 なが、本町四丁目で記された。 なが、本町四丁目で記された。

機上から決潰の黄河を見る

ぐさし、活躍を置けてある我か○○部域の飛行響に復興を飾され開封から中本に至く木帯戦間別十六日の関韓諸員】十六日午後北清に諸々たる恵木の中に先を持つ支那部民獣田に注日

流れに部落にせかれて五つに分れ

海を中心に

兀山局消印の怪手紙

家出の元京城府廳交換手

ころ消た時間見を聞いてるる 一手総の指眼に成外、も、山川、一門めるもの

十六日午後一時中・万京報道福州「面に逃走、東大門器」、に健進げト

村職治郎の御野子関西書館

すから希望の方は住所氏名をお知らせ下さい。 女べの焦點! 生・催

女<sup>主</sup> 子 寒 術 研 究

共所

これこそ「るり羽」の持つ魅力

のトラッ

連轉手忽ち捕はる

一、前流ひせずとも耐い役も一、東は手短に過びがける一、東は手短に過びがける一、機然から三十永く保つ一、日本摩珠堡向れにも良く

番五六五番一七二一語電 店商製石田西坡宗-- 至韓一 香食 史 司 本 稿 - 至韓二 武 車 億 击 地 仁 真 - 至韓三

美しい線の黑髪!! 生々とした

念らが赤毛染

忠鬼沮疾濟士石小一

萬胸郎松奴塲家助入

33

若さと美しさ

牛島⇒防疫陣を强化

が十七日朝祈原里で春川郡大成町

大石興行

|場・三中井| 九日二日間限りです(午前九時より午後九時迄) 階ギ

Þ ラ

ij

廳 覧

大きなからなっている。 

寛壽い

**搅井度平监督** 



補銀が行営

京春鐵道工事

目下の處徒長柔弱が懸

口据置决定

**細目は東京で打合す** 

なるが米穀輸送の問題は本年米作

**入邱の提案** 

明糖支配强化

村で本月中使可する例 部であつた統執事件の にない同に扱いて候項協 にない同に扱いて候項協

本秋迄に認可

二十八年物《俳貨四分》 | 四四分《十九年物》 | 四四分《十九年物》 | 四個

議招置 浦間製像 総互集件のある 様様子 路上の井田東流出海所に成て株 とたり海内宮 町 ルナ・銀子 国 日東流出海所に成て株 とたり海内宮 町 ルナ・銀子 三町十 開曜成一幅出版を附続 八銭夫 三回三十八銭と総合物に削 組を終了した 一段安に

揉合

白米好賣行

三和株式現物店

三面では、 一面では、 一面では 一面では 一面では 一面では 一面では 一面では 一面では 一ででは

仕手は氣迷る

日下市場の情勢から見ると韓能すの ・ さ対料のない既とて仏手は疾ぬ。 ぶ一年に選れて東京りを試みる位 者 ぶ一年に選れて東京りを試みる位 者 に過ぎない後つて何にか目前らし け に過ぎない後つて何にか目前らし け 

北ノ王金山に大富鎮脈投見さる
北ノ王金山に大富鎮脈投見さる
「震楽がた次の如き強信があった。「北海流ので図底会は近来出して、全藤夢を観け仮然温暖である早年前ので図底会の調整会の第五線に対すにがて新な出撃中よる。」にでは大海経に流通したので正統映のが海にがて新な出撃中よる。「日本海にでは流通したのでにた映めが海にが、新な出撃中まる。」「日本会に対して、日本の大神派とでは、一千名の地類は散撃を進している」以上の進りであるが前店に於ても本月中旬割を倒負を現場に対して、日本の大神派として、日本の大神派として、日本の大神派として、日本の大神派といい、日本の大神派といい、日本の大神派といい、日本の大神派といい、日本の大神派といい、日本の大神派が、日本の大神が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神が、日本の大神楽が、日本の大神が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神派が、日本の大神が、日本の北京の大神派が、日本の大神が、日本の大神の大神が、日本の大神の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本の大神が、日本

**)** 中島政治郎商店



殿下の御旅情をお願め申上

對へ奉らん事を期す

へ奉りて 京畿道知事

甘蔗義邦謹話

**釜江原道知事謹話** 

朝鮮軍司令部御成りの東久邇宮妃殿下

元井のお羽 電話龍山七三一

# 京畿道廳に御成り遊ばさる

て折視の薬雨に水量を登して運ばし、前線の歩兵部隊は耐兵の協力を得して運により、臨床前くいるむと見るや て歩、砲聯合の下に猛攻撃を開

像家舗街近に使用、蕗村、永田園(たと観路家は安開駅間を銀行して一道つた「野子、長谷川岡部隊を第一線とし、一線が地を突破した中野、長谷川岡部隊を第一線とし、一線が地を突破した中野、長谷川(の色あり同地の暗音は日間の間に)

財經政策の要旨

**(88)** 

平省以 男

一郎門房

蓮沼門三氏堂

外相、明かにす

終三時より外相官邸に在京外人匪

外人記者團に對して

| 選手兵 | 地順者訓練所

使訓練網領を發す

◆平沼福相序文の一節 ・ であるが、 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。

◇平沼樞相序文の一

が抗議を反駁

讀銃本後

(內容目次大要)

## •

## の頭痛り



內管所業額鮮朝 八價他/其·鎮石重·鎮鋼·鐵銀金 番六拾浦二雜話電·前驛浦二余、巡海青 許特佛米英日



北島薬店

金質業

之日本

最

事變當時の事情を偲びつく

一後の覺悟を新にせよ

られては、聖職に傷つき損め 長くも 息后陛下に於かせ **の通信処刑子内親王段下を、** 

投き極みである。 明治大帝に

居任回

诞<sup>业</sup>淡會。

指かさるところである。

親王殿下を御郷へ申し上るの面の方り 東久邇宮妃助子内 吹く聞くなりまするの時り、いよく、東亜の治安の

今や 聖職を第三期戦に入

18は 四小線に分れまして

特別議會召集か

アメリカで今秋

のイタリー図参加職定に張力せる 御章贈與御沙汰

財政的に破綻を來す

25 ▲ 1回(若)速途四球、流木一旬 使投足生き方应、大針、四回球 水火で、早くよ四點、球金三級 「服)妖吊、信候四球、山海三 和「妖吊」。「食村四球、山海三 和「大料三球」。「有村四球、山海三 和「大料三球」。「有村四球、山海三 和「大計三球」。「有村四球、山海三 「一」(若)流本右河、吉阪右側 安打、大計三球川安打、駒二副 「時度現り株化」「医成心」 時度現り株化。「国、大計、西、利。」

頂しの餘儀なき今日にあつては内

居留 民も織りめしたう

小學コートで墾行、職組左の領策四日は十七日午後四時より獨 **放射4 (233——15) 36**莫商 敬文22 (11)——91) 20鉴正

引續き軒並安

カン虫氮

見の危機

は



や消化不良に御注意日増しに殖える下痢

また消化力を鈍らせて、お腹下した空氣が赤さんの神經を焦立たせ ます。宇津救命丸でまづ胃膓を整 や青便、消化不良が俄に殖えて來 鬱陶しい梅雨期です。 じめじめし へて下さい。それはこの危機を切

抜ける一番賢い育見法です/

スグお興へ下さい吐いたり、下痢の續くとき便の様子の思い時、お乳を

北京近代科學圖書館長

が法が勝じられるのではないかと

した事がありましても現地解決と

陸古代、乾沓及び輪沓

**芝店の入日午前五時頃知りまし** 

も事態重大らしく煙を掘ったり、

三氏氏氏氏氏長長

最も権に政策するもの持ではある。 ブくか 関の帝と将軍と工事作物、田作地方に参考は如何なる理由に基した。写場会が多い、際民多くは山場ではかることも如よの傾向を 作地方に参考は如何なる理由に基した。写場会が多い、際民多くは山場のでは経験がより、「のから、「のから、「のから、」という。 

裕 忠良勇

らぬかやがて一緒の雲崩池路とし の祭を催して山神の豊に其の表情 を生じ適等の類映をして不可能な のがあり含めにはしばら、新雨

一般はして相違なをせん。第一権も大戦艦を来し怨器の日子近き一時の良ひ田を紙上に歌きてかは、一体文 局長 挨拶) 仰多一今や総州城略・移り、漢口の郡政一日の蔵派橋事件を明証し、そのな アジアの新世紀にかどやかしい記 軍時 砂柳島の松井大佐が すゝめる市中はそんな風で危機一

軍の衝戦は到る處運搬運勝 | す、この豚あの記念すべき七月七 | を聞す次節で収來食早 | 周年をけみして | にある を思はせ るものがありま | 登職あると思

店留民の信頼を受け

義勇隊決死の警備

大使 館の方針は依然とし

談

十ペーセント、著しき時は内地へ一等に原因するものと見られてある 代理大使は十七日午前十時外都有 【東京電話】スメタニン駐日ソ聯 堀內次官抗議

總代理店 ② **触玉置商店** 

(日トにあり) 一十銭より



多程

種が

種四

(O/C-MIRI) 田田中山山 | 1000年120日 | 1000年120日

がある

1747

學大國帝各 <u> 章情常院病</u>

コグキコア ブ 17 1ゼ ル ルヤナドン ブ ブブブ ト ト トトト ト セ セレビ ゼ

68888888 ABOBA ! 星遊節次越中郊

計 會 式 株 店商吉友澤藤 町底銀區東市販大 町木區根木井東京 以下4、台东城水

トン(右足)次に兩足を膨

本社主語 花帽導道二行

## の本様は鬼焼府内一局に聴慨した記を報じてゐる、理 タクシー料金値上げ

明初物金の値上を行ったばかりに | 俗しその他に霜者連じ京被し特殊。 事情と報して次のそうなことを集 由は精材料の酸質といふのである

智本 理 際 政 或

民

**花柳壽美さんの振付出來る** 

つもりで手はそのまし左右に敬題。ころ

練習は今から皆日の華やか

日のやうにス・フ製品が超銅的一振でなく、たとへばお召物に雨

縮みが出來に協会、突差に

になるといふこともたかく

蒸氣アイロ

洗濯屋さんの要らぬ

たと親庭な挑戯を三つ組

是が昨日の指し終。四銀け何れも賦

入り亂れての攻防戰

**共設 飯 塚** 

御一郎

| 日本語 | 日本

牙炎粧院 林明子))

胡瓜と林檎で お肌は美しく

日左足を出しりの名に負む

け我へを知られものと如く何時も 世日本で云へばもう中学の女性 ルレーネデイトリッ ディトリッヒの秘法

/1で (3) の形のまい右足

爾足)で(5)の形をして1



家の 觘

田中德太郎氏本房羅譯官

とは水で潤くと栖の間がくべつ甲、角製、煮場の積な

くし類の手入れ

第一霧を平均に吹くといるこ





うつぶせに寝る

して翻画な調金を育りながらな

【第四局】

態使に使用出來る重要な震氣アイ ンの家庭化』を目指して、お安く 「副門家が使つてみる選組アイロ

プケ・脱け毛を防止し、毛根のランは強力な管理的性能によっている。

赤ちやんの暴丸





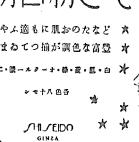
香 煮さり 新わ なや 果"か 物。な 亿 初 は 夏・ 太の 關抗 o n

吐食式株業工品食家森

方弦

七月の研究生募集 は海が高温と明られ

てつ揃が調色な富豊





Pで赤ちゃんを育てますと、体重が充分増された出るなど、単れた一番よろしいが、単乳だ単のませんので、半乳だ半年は出れている。

牛乳添加料 一番進んだ

**幸る − − 丈夫に發育します。** 

糖ロロンを加へて下さS。 牛乳の不足榮養分

背頭って立っかは上の赤紅生の赤紅生の赤紅生の赤紅生

、(伯朝 最合式作道图五大) 店舶管兵是田麓 出台 四倍型市原大 元宣陵

の定けてす

ず、血色も悪くなり、酸育が週れます。 ですから、牛乳を用ふる場合しは、必ず育兒

開きま 古城窓沿 中原株 1 日城窓沿 中原株 1 日城窓沿 中原株 1 日城窓沿 中原株 1 日城窓沿

旅行!

おつと待て

9

品れちや大變だ

85(1)289

GINZA TOLYO

目に見えぬ收入増

**江原道農業** 

道民の所得に應じて割當

江原道各郡へ通達

消費節約で資源增强目指し

江原道當局で獎勵

に懲が出て分析の手配

北仁川港の工事場異問

## 報國の前 忠北官民にその指針を示す

カ月十三日から 新造船月山丸

鼠第二枚、百四祭廿二枚、五

高敞中學校が起つ

【金州】 最近は大分成少したが從 | 育上面白くないといふので脈

犯人は二十歳の娘 外體始末中にお繩

松害し、その場で死體を成分せ

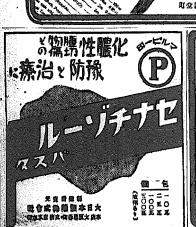
サーは北支の山野に蜿蜒し縁々たり、一下石油宮社々員歩兵伍投敷地正

仁川】府内萬石町七〇スタンダ

製炭技術實習

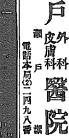
午前に時大潮で利用して朝鮮車無 出北古地大松炭酸水を加量に奏る

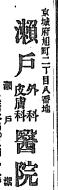
異り内容成分の 從來の强壯劑さ 理のエツセンス **ボす如く現代學** 特殊作用 劑洗 るけ悲に理學 所 樂 製 村 植 町建新府級東 の代時新











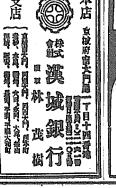


















〇女學生短罪(中古改造品)一是黑國日十〇 966一足 三国医十島

硅石を發見

十四百度の熱に耐へる良質

埋臓量は廿五萬ト

二十年の丈夫向短靴にて大衆向品で高は梅軍物下の水兵爆馳を歐竜(中古政總品)

**韓水兵型黒革短靴** 



赤魔暴虐の跡を

協定語 | 基別江を一つ距でゝり聯に對峙し| 於ける彼我の駅間、気分の辺辺よくてゐるのだから鮮り関策防共稼に

、百米の對岸に見る

防共ラインを往くの途

金一封御下賜

ガ働者の生活を脅す

岡宗制度を通帳で

単くる悪質ブロ

京畿道、浮動勞働者の安定に乘出す

車一つぶら下げてみるプローカー

の丸辨當』を召され 削線の勞苦を偲ばせらる

洗布所の外交員

る、それでなくてさへが動群の

し、近伴れにかねて馴集の若鶴を連るのを感じた加藤は、死を覺悟 集金横領の發覺を怖れて



この間は一般物理化學的影響に對

**同志の激勵に送られ** 

**轉向の闘士行く** 

時局對應委員會へ半島の兩代表



家庭常備救急頭

富士こそ日本の姿

**城大對九大蹴球** 

肝臓型剤へパーしむ

=-144 --144

27

用されて国ります。 匠状を消失せしめます

新りの観!二郎六十韓 五〇〇紀:九郎五十韓 ・

漢江へ跳込む

本の習慣通り食物に含ったと云ふ

瘤"

と

「サメの辿いが評判 頭。痛・

經婚にも大腿よ

十二指腸蟲。腺病質産後・出血後・結核

既職、福島の主教

いい質れ行です 館 4歳 森田製鑑所 おためし下さい

野報院

游疾·微霉 生殖器

塩井皮漁科 塩井皮漁科

本語・大学の主義を は、一大学の主義を は、一大学の **化柳病**專門

京日紫內

京城府 元町一丁目(鎔磷矿级的)

岡内科醫院

+

ピアノ寺田清本店

アンプロ鉱印信院・ラッパ(前回日記は五月四日)

京。 京城田縣市 第二次 1000 元次 1000 元次

**栄隊用樂器** 

加 景 高端 落城 ( In h ) 大人の人者 では、2)六九の人者

店商新中田

一 硝子食器 荒物 町 一

家庭用金物

大三 居 投资以一市一编一名

四大門町駐在宅土(2)四四年に明治町支店を全(2)四四年に明治町支店を全(2)四四年に明治町支店を全(2)四十七十七

の国際記

番驅鐵鉛鄉

市品学高位度 地河一/ 111位 2016年 111位 2016

でつる日数イン

倉庫付事務所又 語別認認

のト流

新願り

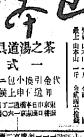
加藤翠松堂

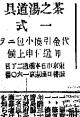
家を求む は商店向きの貸 御知らせを乞ふ

**設**熊平商店















ゲルトネル氏菌験見さる

混城大醫學部に凱歌

